

令和4年度 一人一人の確かな学力のために 3年

		学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着(まとめの50問テスト90点以上を8割以上)を目指します。そのために、小テストを週1回程度行い、間違いは必ず直す習慣を付けます。 国語辞典を正しく引く力や習慣を付けます。そのために、必要なときにすぐ辞書を手に取れるよう、マイバッグに入れ、国語の時間には机の上に置く習慣を作ります。 物語文、説明文が正しく読み取れるようにします。そのために、根拠となる文章に着目させることを行います。また、あらすじや要約を書くことで文章の要旨を捉えられるようにします。 		
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の定着を図るために、計算ドリルを活用して繰り返し問題に取り組めます。必ず答え合わせを行って間違いを直す習慣を付けるようにします。 単元のテスト直しを実施し、必ず内容が理解できるようにしていきます。 上記の事を行い、知識・技能の項目を全員が9割以上定着できるようにします。 		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書の習慣を身に付けます。そのために、朝読書の時間、図書の時間を活用し、本に親しみます。読書環境を整え、教科に関連した本を紹介したり、マイブックを用意していつでも本を読めるように指導したり、読書貯金箱(読書カード)に記録し、年間で5000ページを目標にし、随時振り返りをして意欲を高めます。 パソコン技能向上のため、インターネットでの検索、ローマ字入力、簡単な発表資料の作り方を指導し、全員ができるようにします。 ふるさと学習では組子作りを行います。作るだけでなく、職人の思いなどにも触れ、伝統を大切にす気持ちを育みます。 様々な単元を通して世界的に色々な問題があることを知り、身近なことから考え解決しようとする考えを育みます。SDGsを知るきっかけとなるよう指導します。 		
思考力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題解決をする児童を目指します。そのために、授業のはじめにめあてを明確にし、見通しをもって学習に取り組めるようにします。課題解決の流れが分かるようにノート指導を行います。授業の終わりには、児童が、自分の言葉でまとめられることを目指します。 自分の考えをもち、友達に伝え合う児童を目指します。そのために、考える時間を十分確保したり、友達の意見を受けたりしながら考えを発表している児童を賞賛し、学び合う力が身に付くようにします。 			
学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> 話す・聞く態度を意識できるようにします。そのために、話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手の顔を見てうなずきながら最後まで聞くこと、友達に伝えることを意識して話すことを指導します。 家庭学習の時間を、毎日45分間(15分×3年生)取り組むことを目指します。そのために、児童の実態に応じて自主学習を推奨したり、模範となる児童の取り組みを紹介し、参考にできるようにします。 家庭学習の提出率を95%以上目指します。そのために、未提出児童には声掛けや家庭への連絡を行ったり、児童の実態に応じて隙間時間等に指導したりします。 			